



## 焼津水産高校の生徒・学生が海上自衛隊を見学



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・宮川知己一等空佐）は、1月16日（木）、静岡県立焼津水産高等学校（焼津市）の海上自衛隊横須賀基地（神奈川県横須賀市）見学を支援した。

今回の見学に参加したのは、海洋科学科2年生20人と、同学科を卒業後に船舶運航のスペシャリストである三級海技士などを目指して勉学に励んでいる専攻科の学生14人。

横須賀基地到着後、岸壁に停泊中の護衛艦「たかなみ」と「てるづき」の雄姿を前に、海上自衛隊や護衛艦の任務、両艦の性能などについて丁寧な説明を受け、学生たちは対応してくれた海上自衛官に同じ海の男として親近感を寄せていた。

次に、岸壁から近傍に所在する海上自衛隊第2術科学校に移動。同校は艦艇の心臓ともいべきエンジンをはじめ、情報や外国語に関する海上自衛官の教育、そして部隊運用の調査研究と幅広い。学生たちは2グループに分かれて、護衛艦の主力エンジンであるガスタービンエンジンの始動操作をシミュレーターで体験したほか、普段目にすることの少ないエンジンの実機を間近で見学し、機関の構造や各種機能について多くを学んでいた。

研修終了後、学生は「学校では経験のできない機関室のシミュレーター操作や巨大なガスタービンエンジンを間近に見学できて、これからの勉強の励みになりました」と感想を話してくれた。

静岡地本は、今後も実際の装備品に触れることができる基地見学等を積極的に紹介し、多くの若者に自衛隊の魅力を知ってもらえるよう努めていく。

## 在日米陸軍軍楽隊も登場 令和最初の静岡音楽祭



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・宮川知己一等空佐）は、1月25日（土）、グラシップ静岡（静岡市）で開催された静岡県防衛協会主催の「第39回静岡音楽祭」を支援した。

今年「心奏（ハーモニー）響け輝け心のメロディー」をテーマに、2部構成で行われた。第1部は、この春県内から自衛隊へはばたく若人たちが激励を送る場として「入隊・入校激励会」を開催。海上自衛隊東京音楽隊の中川梨子3等海曹による国歌独唱で始まり、静岡県防衛協会会長・鈴木与平氏や同協会名誉会長の川勝平太静岡県知事、国会議員、陸上自衛隊富士学校長、航空自衛隊航空教育集団司令部幕僚長から心温まるメッセージが送られた。

激励を受け、入隊・入校者を代表して、海上自衛隊一般幹部候補生として入隊予定の清遠太郎君が、日本のために仕事をしたいという熱い決意と、家族をはじめこれまで育んでくれた故郷・静岡への感謝の言葉で挨拶した。

第2部は、陸上自衛隊第34普通科連隊らっぱ隊（御殿場市）、県立清水南高等学校・同中等部管弦楽部（静岡市）、滝ヶ原駐屯地雲海太鼓（御殿場市）、在日米陸軍軍楽隊（神奈川県座間市）、海自東京音楽隊（東京都世田谷区）が、それぞれの特色を生かした音楽の魅力と力を伝え、集まった約3600人の心を美しい音色で魅了した。

特に海自東京音楽隊は、全国高校サッカー選手権大会を制した静岡学園高等学校を称えての大会歌や天皇陛下御即位の際の奉祝曲などを演奏するとともに、アンコールで再登場した米陸軍軍楽隊と「星条旗よ永遠なれ」などを合同演奏し、聴衆と一体となって日米友好の絆を深めた。

静岡地本は、今後も自衛隊を目指す若者が高い志を持って入隊できるよう各種激励会を支援するとともに、音楽隊による音楽演奏などを通じて、自衛隊の活動に対する理解促進と自衛官への親近感向上に努めていく。